

平成27年度 武蔵野市図書館事業 重点中長期目標

<評価について>

A 目標を達成し一定の成果があった

B 概ね目標を達成したが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、目標を達成できなかった

No.	中長期目標 (計画期間中)	単年度目標 (平成27年度中)	図書館基本計画 関連施策	図書館運営委員会	
		取組結果		評価	内容
図書館施設・機能の充実					
1	他の公共施設との連携等により、図書館から一定の距離がある地域へのサービス提供、来館が困難な人へのサービス提供を充実させ、市内在住者の図書館貸出利用登録割合を40%以上にします。	ブックポストの設置箇所の検討結果を踏まえ、具体的な設置に向けた取り組みを実施すると共に、今後のブックポスト設置地域についても今年度の成果を踏まえて検討し、図書館運営委員会等へ報告を行います。	公共施設を利用した図書館機能の充実		
安心して利用できる図書館環境の構築					
2	利用者が快適で安心して図書館を利用できる環境を構築します。利用者アンケートの中で、安心感があるとの評価を75%以上にします。	アンケートの内容を工夫するとともに、結果等を踏まえた予算措置等を講じ、より安心して図書館を利用できる防犯体制の実現を目指します。	利用者の安全性を高める施設の充実		
質の高いサービスを支える体制整備					
3	図書館として最も望ましい管理・運営形態を目指し、利用者への利便性をさらに向上させます。利用者アンケートの中で、利便性について良いとの評価を75%以上にします。	地域特性等に応じた図書館を目指し、今後の吉祥寺図書館の在りかたについて検討を進め、それに相応しい管理・運営形態を報告します。	施設の管理・運営形態		

地域の情報拠点としての情報の蓄積

4	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。	一般図書、逐次刊行物、視聴覚資料、郷土行政資料等について収集方針を点検し、報告するとともに、引き続き収集と整備を進めます。	多様な情報資料の蓄積		
		利用者のニーズ、アンケートの結果及び他市調査等に基づき、インターネットデータベースの種類を増やします。	多様な情報資料の蓄積		
		蓄積された資料をもとに、システム更新に伴う利用者の利便性を反映したHPのリニューアルなど積極的な広報や年2回以上のデータベース利用者講座等の実施などを通じて、市民や利用者ニーズへの的確・迅速な対応を図ります。	多様な情報資料の蓄積		
		図書館における電子書籍環境について引き続き研究するため、現在の取り巻く状況を調査します。	多様な情報資料の蓄積		

市民や関係機関と連携したサービスの充実

5	学校図書館の支援機能を強化しながら、図書資料を活用した学習を広く支援するとともに、そのための体制づくりに取り組みます。	学校連携用図書の選書会議を年1回開催します。また、学校連携用の資料の貸出テーマ別リストを更新します。	学校との連携協力		
		学校等への事前広報の上で、学校や学校図書館に職員が出向き、ブックトークや読み聞かせの講座等を学校の要望を取り入れながら引き続き実施していきます。	学校との連携協力		

図書館の活用と情報収集の支援				
6	自動貸出機や自動返却機の導入、配本サービスの充実、ブックポストの設置など利用者の利便性の向上を図ります。利用者アンケートの中で、利便性について良いとの評価を75%以上にします。	自動貸出機・返却機・館内OPACなどについては、利用者アンケートの結果を参考にした利便性のさらなる向上を目指し、27年度に実施する次期図書館システム導入に合わせて効果的な機能を専門部会等で検討し、可能なタイミングをとらえて反映していきます。	貸出・閲覧サービスの利便性の向上	
7	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境整備を進めます。	24年度から実施している「みどりのこども館」でのおはなし会についてこれまでの実績を踏まえ、今後対象を拡大できるか検討し、報告書を作成します。	本に親しめる環境の整備 児童向けサービスの充実	
		一般向けトピックス展示を、中央で年5回（期間1～3ヶ月）、プレイスで年6回（期間1～2ヶ月）実施します。	本に親しめる環境の整備 一般利用者向けサービスの充実	
		児童向けテーマ展示を各館年3回以上実施します。	本に親しめる環境の整備 児童向けサービスの充実	
		24年度に各館（中央・プレイス）で実施したYA向きの展示企画を発展させ、3館で取り組む企画展示として実施します。	本に親しめる環境の整備 ヤングアダルト向けサービスの充実	
		中央図書館で「課題解決支援テーマ展示」、全館で各課事業に関連した図書の展示等を実施し、庁内、関係機関と連携して、利用者がより幅広い情報や資料を入手できるように努めます。	他の図書館施設、行政部局との連携・協力	

市民の学びと課題解決の支援					
8	利用者が必要とする情報・資料を容易に探索できるよう、本の案内やレファレンスサービスを充実していきます。利用者アンケートの中で、レファレンスサービスについて良いとの評価を75%以上にします。	各館で実施した研修資料については他館に送付し、レファレンス問題については全館で検索可能なレファレンス事例システムに入力し、情報共有の体制を強化します。	レファレンス・サービスの充実		
			一般利用者向けサービスの充実		
		中央で実施した研修に分館から代表が参加した後、自館で報告研修を行ったり、同じレファレンス課題に全館職員が取り組み、レファレンス対応力の向上に努めます。	レファレンス・サービスの充実		
			一般利用者向けサービスの充実		
		レファレンス研修については、中央で6回、分館で2回以上実施します。	レファレンス・サービスの充実		
			一般利用者向けサービスの充実		
利用対象者別の図書館サービスの充実					
9	シニア世代を対象とした趣味や健康に関する情報提供や図書館資料を活用した学びの支援、また市民ボランティアとして図書館運営に参画してもらいます。利用者アンケートの中で、シニア利用者の図書館満足度について良いとの評価を75%以上にします。	ブレイス生涯学習機能で実施しているいきいきセミナー、老壮シニア講座等に、資料提供、図書館利用案内等を行い、シニア世代の生涯学習を支援します。	シニア利用者に対するサービス		
			来館、利用困難者に対する利便性の向上		
		高齢者施設への貸出や宅配サービス等を他の自治体の動向も踏まえて検討し、報告します。	シニア利用者に対するサービス		
			来館、利用困難者に対する利便性の向上		